スタッフと一緒に丁寧に壁を塗るさかなクン

8.5金10時OPEN

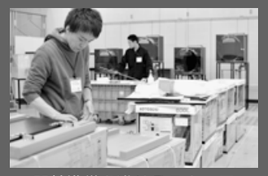
もぐらんぴあが街なかに！

東日本大震災で全壊した地下水族科学館もぐらんぴあが8月5日(金)10時、「もぐらんぴあ・まちなか水族館」として駅前（旧中村家具店）にオープンします。

同館の管理運営には、震災で離職した人の再雇用を支援する国の事業を活用。もぐらんぴあを管理していた、あくあぷらんつのスタッフ9人が現在、準備作業を進めています。

6月8日・9日には、さかなクンが応援に駆けつけて、壁のペンキ塗りなどをお手伝い。同館には、さかなクンと縁のある企業から水槽や機材が提供されるなど、全国から熱い支援が寄せられています。

同館では海の生物などの展示のほか、生物とのふれあいコーナー、手作り体験コーナーなどを設置予定。お楽しみの開館まで、今しばらくお待ちください。


開館準備を進めるスタッフ

久慈小が文部科学大臣表彰を受賞

連携で読書推進 高評価！

久慈小学校（大芦賢一校長・児童714人）が平成23年度子どもの読書活動優秀実践校に選ばれ、文部科学大臣表彰を受賞しました。

同校は平成14年度から読書タイムを設け、平成19年度には図書の修繕などを行う図書ボランティアの募集をスタート。読書の習慣付けを教育課程の重点に掲げ、親子読書にも取り組むなど、家庭や地域と連携して推進している点が高く評価されました。

児童による図書委員会の活動も活発です。しおりプレゼントやスタンプラリーなど、工夫を凝らした企画で図書の貸出冊数を増やしています。

同委員会委員長の森岩寿々（ずず）さん（6年）は「本の好きなところは、いろいろ学べること。学校のみんなが、たくさん本を借りて読んでくれるとうれしいです」とニコリ。久慈小の読書の輪は、今後さらに広がりそうです。

本が大好き！（左から）図書委員の嵯峨日和さん（6年）、金澤英理香さん（5年）、森岩寿々さん（6年）、宇部翔馬くん（同）、谷地彪流くん（5年）

人気図書

今、久慈小では、男子には「かいけつゾロリ」シリーズ、女子には「なんでも魔女商会」シリーズが人気とのことです。

久慈湊保育園の新園舎が完成

保育と交流拠点 誕生祝う

久慈湊保育園の園舎改築落成記念式典は6月12日、開催。約80人が出席し、保育と交流拠点の誕生を祝いました。

社会福祉法人久慈湊厚生会の下川原光昭理事長は「皆さんの努力に感謝。3月11日の地震にも耐える立派な園舎ができました。子どもたちが安全に安心して活動できるよう運営していきます」と意欲。山内隆文市長と宮澤憲司市議会議長も祝辞を述べました。

新園舎の完成は3月、園庭などを含めた全工事は5月末で完了。安全性を重視した構造の新園舎には、ゆったりとした保育スペースが確保されているほか、地域交流室も整備。風水害発生時には避難所としての役割も担います。

中田恵子園長は「園児は皆、元気に遊んでいます。子どもたちの笑顔が一番ですね」と表情を緩ませていました。

式辞で感謝を表す下川原理事長

新園舎の概要

■工事費　1億7,390万円
■構　造　鉄骨造2階建
■面　積　敷地 2,442.02㎡
　　建築　514.22㎡
　　延床　825.23㎡

久慈まめぶ部屋が全国B－1出場資格を獲得

異例の大出世　久慈の名を全国に！

精力的な活動で大金星！

郷土料理まめぶ汁でまちおこし活動を展開する久慈まめぶ部屋（小笠原巨樹部屋頭）が5月、ご当地グルメの祭典「全国B―1グランプリ」の出場資格を獲得しました。

同グランプリの出場条件は、主催団体の愛Bリーグに認められ正会員になること。同部屋は昨年10月に準会員となり、今回、正会員に昇格。昨年4月の立ち上げから、約1年で異例の大出世を果たしました。

5月23日、同部屋は市役所で、山内隆文市長に喜びの報告。山内市長は「皆さんの努力に敬意を表します。まめぶ部屋の名前を全国に知らしめてください」と激励しました。

小笠原部屋頭は「久慈まめぶ汁が食べられる店を増やしたり、サポーターも募りたいです。久慈市を全国にPRするため頑張ります！」と意気込みを熱く語っていました。

東北B―1グランプリは9月17日・18日に青森市で、全国B―1グランプリは11月12日・13日に兵庫県姫路市で開催。皆さんの熱いエールをお願いします。

まめぶ汁で被災者支援

久慈まめぶ部屋は、まめぶの家と協力して配給や炊き出しで東日本大震災の被災者を支援。3月12日、まめぶ汁300食を市内避難所に提供したのを皮切りに、県内外の市町村を訪問して5月までに計17回活動。山田町では二十山親方と同後援会も一緒に活動しました。

団結力抜群のメンバー。意欲がみなぎります！

荷軽部地区簡易水道事業が完了

地域の念願　安全、安心の水に喜び

構想から約15年、ついになった地域の念願―。

平成20年度から整備が進められてきた荷軽部地区簡易水道事業の全工事が本年3月に完了。6月19日、平庭山荘で完成祝賀会が開かれました。

当日は祝賀会に先立ち、浄水場の見学会と、荷軽部小学校の校庭で通水式を開催。地元消防団員が勢いよく放水して、くす玉を割ると、見守っていた約40人からは大きな拍手が沸き起こりました。

祝賀会で荷軽部地区簡易水道整備促進協議会の石渡高雄会長は「多くの協力をいただき、念願の水道整備が完了しました。貴重な水を末代まで利用させていただきます」とあいさつ。山内隆文市長は「事業完了は地域の熱意と協力があればこそ。今後もみんなで豊かな自然に囲まれた、地域の暮らしを守っていってください」と祝辞を述べました。

出席した約60人は皆、晴れ晴れとした表情。より安全で安心な水を喜んでいました。

事業の概要

■事業費　7億8,600万円
■事業の認可年月日
　平成20年3月6日
■工期　平成20～22年度
■計画給水人口
　330人（102戸）
■計画給水量（1日）
　平均69㎥・最大89㎥
■配水管総距離　14.4㎞
■給水開始年月日
　平成23年3月28日

地域住民の注目が集まる中、行われた通水式

あいさつで、熱い思いを込めた石渡会長